

これまでの懇談会等における主な意見について

若狭地区高校教育懇談会等における主な意見			
区分	再編整備計画について	職業系専門学科について	若狭地区の県立高校について
第1回若狭地区高校教育懇談会 (H21.10.13)	<ul style="list-style-type: none"> 小規模校には、ゆとりのある教育、きめ細かい教育ができるという良い面もある。適正規模はあると思うが、一概に学級数がいくつなければならぬというのではないと思う。 中学生は、多様な部活動のある学校、友人関係の保てる学校、将来への可能性が広がる学校という見方で進学先の高校を選ぶ傾向がある。 小浜でレベルの高い学習ができるような再編をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得、県立大学の連携や先生方の民間からの採用など、全国的に独創的でユニークな取り組みをする県立高校があってもよい。 職業高校は、あまり専門化せず普通教育を大事にすべき。普通教育のカリキュラムをしっかり学習した上で、専門学科の職業に興味を持たせることを基本にして、計画を策定したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 若狭高校はもっと力を出して、嶺南から福井の高校に行く生徒を減らしてもらいたい。 若狭高校理数科を特別クラスにして、後で文理の選択ができるようにすればどうか。 水産高校と若狭東高校をミックスしたコースで、いろんな資格を取得できるとよい。 再編整備は避けて通れないと思うが、なんとかして「水産」を残してほしい。 再編で水産学科を盛り上げ、子どもたちが進んで選択し、希望を持つことができる学科にすることも必要。
第2回若狭地区高校教育懇談会 (H21.12.21)	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携や地域貢献ができる高校づくりを進めてほしい。 志望が多い学科は定員を増やし、少ない学科も2～30名でもいいから残して、良い人材を育成すべき。また、標準法の基準を柔軟にするよう国に求めていくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 水産高校について、県立大学の附属高校的な要素をもつ発想ができないか。 カリキュラムはできるだけ自由で、幅広い、柔軟な選択制が良い。 職業系高校で、資格を取って就職できるような魅力ある学科を作してほしい。 職業系高校で、大学進学後、学習についていけるだけの学力をつける方策を考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 若狭地区の普通科の定員割合を嶺北並みにしてもらいたい。 若狭高校に特進コースを設けて、若狭地区から難関大学に行ける環境を作ってもらいたい。 嶺南に普通科の単独校が1校もないので、考えてほしい。 総合高校にして、部活もいろいろ選択できる、水産の勉強もできる状況を作るのが再編で大事な問題。
第3回若狭地区高校教育懇談会 (H22.5.20)	<ul style="list-style-type: none"> 嶺南の方々の中には、再編で2校になることにより、その分募集人数が減るのではないかと不安を持つ方がいる。十分説明してほしい大きな問題である。 現在の保護者は普通科への志望が高い。今の保護者や中学生が望んでいることも大いに考慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 外洋での水産実習は、国の実習船や調査船に全国の専攻科の生徒と一緒に乗船し、互いに切磋琢磨させるような方法が効果的ではないかと思う。 雲龍丸については、海洋調査や資源調査、底引きの実習等に使い方をシフトしていくことも考えていただければと思う。 水産教育と県立大学との関係については、例えば推薦入学の拡充や県立大学の先生に高校で授業をしてもらうなど、具体的な在り方を示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 県教委の示す再編整備の方向性は、数合わせに見える。独創性やユニークさが無い。 今の3校のまま続けても、子どもたちが集まってくるかという点、そうではないと思う。少子化で、なおさら減っていくのではないか。 定時制の再編を考える中で、不登校経験者を受け入れられる体制も用意してほしい。 小浜水産高校では、学校や学科の特色というものを大事にして教育を進めている。特色や独自性を生かせるような再編、今後の在り方を探してほしい。
その他の会議等	<p>今後の水産高校教育に関する検討会議 (H22.7.23)</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある水産教育のため、地元産業とさらに連携して、地場産業の知識をもっと深めてほしい。 県立大と連携して水産高校を残してほしい。「獲る漁業」から「育てる漁業」へ力を入れた水産教育をしてほしい。 職業系の生徒も、大学進学を目標の一つとして授業科目の充実に取り組んでほしい。 水産高校卒業後の進学や就職を具体的に示していかないと生徒が集まらないのではないか。 <p>若狭地区高校再編に関する研修会 (小浜市) (H22.9.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> 志望者が少ない中でも、専門性の高い教育を行うことにより、小浜水産高校を残せないか。 水産ばかり大きく取り上げられるが、農業、工業、商業科の充実も重要。 2校に再編するのなら、子どものニーズや新しい時代に応える魅力ある高校を新しい発想でつくるのが大事。 <p>中学校関係者等との意見交換会 (H22.11.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、普通科を志望する傾向が強い。総合選択制は非常に良い制度であると思う。 若い人が地区に出て行かないように、地域の人材を育てられる学校にしていくことが必要。 若狭においても、原子力工学に関する学科を設けてはどうか。 再編にあたっては、学校の特徴や魅力を全面に出してほしい。 嶺北の各地区には普通科単独校がいくつかあるが、嶺南には一つもないことに不安を感じる。 		

高校再編に関する保護者等との懇談会における主な意見	
区分	主な意見
各市町ごとに、若狭地区の全小中学校保護者代表、校長、教育関係者を対象に実施	<p>(再編整備計画に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化と普通科への希望が多いため、再編を検討する必要は感じる。 再編によるデメリットもあるのではないかと。メリット、デメリット両方を示してほしい。 県内には普通科も商業科もある高校が残るのに、若狭地区だけ再編されるのはどうか。 生徒数が減少するなかで、1校にまとめられないか。 再編までの期間が短いので、実施時期を考慮できないか。 他の保護者や市民にも説明する場をもってほしい。また、カリキュラムの検討にあたっては教員の意見もよく聞いてほしい。 水産高校には、不登校や保健室登校など、弱い立場にある子どもが多いのではないかと。2校体制としても、弱い立場にある子のケアをきめ細かくしてほしい。
	<p>(水産高校に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業系高校が若狭東高校中心となると水産が海から離れることになる。海が横にあるから、水産教育ができていたのではないかと。 水産高校と若狭東高校との統合となったときに、どのように水産系を運用するのか。施設の運用をどう考えているのか。 6キロも離れた2つの校舎を使うのは負担がかかる(授業、部活)ので検討してほしい。 水産の校舎を実習に使うということだが、移動手段はどうするのか。 小浜水産高校と県大の連携については、これまでの意見やパブコメでの要望を踏まえて進めてほしい。 専攻科をなくす方向とのことだが、実習船は所有しないのか。
	<p>(普通科系学科に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進学を専門に集めることは効果的だと思うが、現代の子どもの精神面を考えると不安に思う。 若狭高校では、生徒に対するケアが薄いのでは。2校体制になったとしても、生徒の一人ひとりに応じて手厚くケアをしてほしい。 若狭高校の進学を強化していくという方向性は大事だと思うが、その結果、県外進学した子どもが地元に戻ってくるかという不安もある。 チャレンジ科は理数科を文系にも対応した学科にするといいと思う。
	<p>(総合産業高校に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> この地域を支える水産・農業・土木・商業の内容を薄めないでより良い教育を行ってほしい。 大学での授業についていけるよう、普通教科が充実した総合産業高校があっても良い。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化に対応するため、福祉の学科があってもいいのではないかと。
<p>おおい (H23.7.19) [38名参加]</p>	
<p>若狭 (H23.7.21) [47名参加]</p>	
<p>小浜 (H23.7.27) [54名参加]</p>	
<p>高浜 (H23.8.3) [29名参加]</p>	